

公益社団法人 茨城県青少年育成協会
令和6年度事業報告及び収支決算について

【 事業報告 】

実施事業の概要

明日の茨城を担う青少年が、豊かな心を育み、たくましく成長し、自立・活躍できる社会を実現することは、すべての県民の願いです。

しかしながら、情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化に伴い、家庭や地域の教育力が低下している今日、規範意識や社会性の低下、思いやりの欠如、いじめ、不登校・ひきこもり・ニート、さらには、貧困問題等様々な問題が指摘されています。

一方、令和5年4月には、「こども基本法」が執行され、次代の社会を担う全ての子どもが、自立した個人としてひとしく健やかに成長でき、将来にわたって幸福な生活を送ることができるよう、国及び自治体が主体となり、こども施策を総合的に推進しているところです。

このような状況を踏まえ、当協会としては、地域の大人自らが、その役割を自覚し、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力していく「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の普及促進を県民運動の根幹に据え、各種事業に取り組みました。特に「地域を編む孤立0（ゼロ）プロジェクト事業」をとおして、課題を抱える青少年への理解を深めるとともに、地域ネットワークの構築に向けた情報提供・共有に努めました。

また、青少年の自立心や社会性を育む「少年の主張茨城県大会」を継続して開催しました。

さらに、青少年育成県民運動の更なる発展を目指し、青少年育成市町村民会議の全市町村設置の働きかけを行うとともに、関係機関・団体との連携を一層図りながら、次の7項目を重点目標として各種活動を展開しました。

重点事業

- 1 「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の普及推進
- 2 「あいさつ・声かけ運動」の推進
- 3 「少年の主張茨城県大会」等青少年主張大会の充実
- 4 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進
- 5 「地域を編む孤立0（ゼロ）プロジェクト事業」の推進
- 6 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTA、その他関係団体との連携強化
- 7 県立青少年会館の運営に関する事業の充実

- 1 「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の推進では、関係機関・団体と連携して主要駅やスポーツの試合会場でのキャンペーンを実施するとともに、市町村との連携による啓発物品の共同作製をとおして普及啓発に努めた。
- 2 「あいさつ・声かけ運動」では、11月を強調月間と定め、関係機関・団体と連携し、上記1と同時期にキャンペーンを実施するとともに、青少年育成市町村民会議、関係団体等の取り組みの支援に努めた。
- 3 「少年の主張茨城県大会」については、地元中学生の参加のもと、青少年に社会の一員であることの自覚を促す効果的な機会となった。また、これに併せ、ラジオ番組への出演を通して広く県民にPRするとともに、発表記録集及び主張発表を収録したCDを作成し、中学校、市町村及び正会員団体等に配付して、青少年の健全育成に対する県民の理解と関心の向上に努めた。
- 4 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進では、小学生及び中学生から「家庭の日」を主題とした絵画やポスターを募集した。市町村から推薦を受けた作品について、専門家による審査会を設置し、最優秀作品を選定した。また、全作品を機関紙「あけぼの」で紹介するとともに、県央・県南二カ所で作品展を開催し、「家庭の日」の普及啓発の充実に取り組んだ。
- 5 地域を編む孤立0（ゼロ）プロジェクト事業では、困難を抱える子ども・若者の支援活動に取り組む団体を公募し、3団体に補助金を交付するとともに、当協会役員による、活動に対する助言等をとおして連携・協働を促進した。
また、地域での子どもたちとの関わり方をテーマに関係団体による合同研修会を開催し、ワークショップ等を通して認識を深めるとともに情報共有に取り組んだ。
- 6 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTAその他関係団体との連携強化では、青少年育成市町村民会議が開催する各種会議、研修会等に出席・参加し、情報の提供や活動の支援を行った。
- 7 県立青少年会館の運営に関わる事業の充実では、各地域で活躍している高校生を一同に集め、意見交換や研修を通して、青少年リーダーの養成を図るとともに、当館利用者へのサービスの向上及び会館の環境整備に努めた。

実施事業の内容

I 県民運動推進事業

◎ 県青少年育成協会の組織体制

| | | |
|-------|--------|-----------------|
| 役員 | 会長 | 1名 |
| | 副会長 | 6名 |
| | 理事 | 29名 (会長、副会長を含む) |
| | 監事 | 2名 |
| 事務局職員 | 事務局長 | 1名 |
| | 副主査 | 1名 |
| | 係長 | 1名 |
| | 主事 | 1名 |
| | 常勤嘱託員 | 1名 |
| | 臨時職員 | 1名 |
| | 非常勤嘱託員 | 5名 |

1 (公社)茨城県青少年育成協会の運営

(1) 総会

①令和6年度定時総会

- 開催日 令和6年6月21日(金)
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席正会員 92名中 84名 (書面表決者 38名を含む)
- 議事 以下の議案について審議し、承認可決した。

議案第1号 令和5年度事業報告及び収支決算について
監査報告

議案第2号 定款の変更について

議案第3号 役員の改選について

- その他 次の項目について説明した。

(1) 基本財産の預け替え及び執行状況について

(2) 新正会員について

- ・退任する役員から退任の挨拶があった。また、新たに就任する被選任者から就任の挨拶を行った。

(2) 理事会等

①理事会

(第1回)

- 開催日 令和6年6月5日(水)
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席理事 29名中 20名
- 出席監事 2名中 2名
- 議事 以下の議案について審議し、承認可決した。

議案第1号 令和5年度事業報告並びに収支決算について
監査報告

議案第2号 令和6年度定時総会の開催について

議案第3号 定款の変更について

議案第4号 正会員の承認について

議案第5号 役員の改選について

○報告事項 以下について報告した。

(1) 会長報告

事業の執行状況について（令和6年5月末日まで）

(2) 基本財産の預け替え及び執行状況について

(3) 正会員の退会について

・定時総会で退任予定の役員から退任の挨拶があった。

(第2回)

○開催日 令和6年6月21日(金) (定時総会終了後に開催)

○会場 県立青少年会館（水戸市）

○出席理事 29名中 18名

○出席監事 2名中 1名

○議事 以下の議案について審議し、承認可決した。

議案第1号 会長及び副会長の選定について

(第3回)

○開催日 令和7年2月7日(金)

○会場 県立青少年会館（水戸市）

○出席理事 29名中 15名

○出席監事 2名中 2名

○議事 以下の議案について審議し、承認可決した。

議案第1号 令和7年度活動方針並びに事業計画について

議案第2号 令和7年度予算について

議案第3号 名誉会長、顧問及び参与の推薦について

○報告事項 以下について報告した。

(1) 会長報告

事業の執行状況について（令和7年1月末日まで）

(2) 基本財産の運用状況について

(3) 令和6年度青少年団体等顕彰受賞者及び感謝状の贈呈について

(4) 令和6年度「家庭の日」絵画・ポスター審査結果について

○その他 次の項目について説明した。

(1) 令和6年度青少年健全育成茨城県推進大会について

②正副会長会議（役員連絡会議）

正副会長会議は協議の他、役員相互の情報共有として、事業の執行状況、関係団体への出席結果及び事務局からの報告等を行った。

（第1回）

- 開催日 令和6年6月21日（金）
- 会場 県立青少年会館（水戸市）
- 出席者 正副会長7名中6名出席
- 内容 関係機関等との連携、今後の実施事業などについて協議した。

（第2回）

- 開催日 令和7年1月17日（金）
- 会場 県立青少年会館（水戸市）
- 出席者 正副会長7名中5名出席
- 内容 第3回理事会に上程する議題、感謝状の贈呈及び今後の事業内容などについて協議した。

③役員選考委員会の開催

（第1回）

- 開催日 令和6年4月19日（金）
- 会場 県立青少年会館（水戸市）
- 出席者 選考委員4名中4名出席
- 議事 正副委員長の選出、スケジュール確認

（第2回）

- 開催日 令和6年5月17日（金）
- 出席者 選考委員4名中4名出席
- 議事 役員候補者（案）の作成

④監査の実施

- 開催日 令和6年5月27日（月）
- 会場 県立青少年会館（水戸市）
- 出席者 監事2名中2名出席
- 内容 令和5年度事業報告及び収支決算について、中村弘行監事及び堀江英夫監事が監査を行った。

2 県民運動推進事業

（1）青少年育成活動推進意見交換会

①第1回

- 開催日 令和6年4月24日（水）（青少年育成研修会と同時開催）

○会 場 県立青少年会館(水戸市)
○出席者 116名(37市町村、11正会員)
○内 容 令和6年度事業計画・収支予算の説明
県青少年育成協会への要望等の意見交換

②第2回

○開催日 令和6年6月21日(金)(定時総会において開催)
○会 場 県立青少年会館(水戸市)
○出席者 89名
○行政説明 「国及び県の青少年施策について」
茨城県福祉部子ども政策局青少年家庭課
係長 沼沢 秀明 氏

(2) 広報活動

青少年育成県民運動を広報啓発するため、ホームページ、機関紙等の各種媒体を活用して広報活動を行った。

○機関紙「あけぼの」

- ・第137号 令和7年3月発行 16ページ 6,000部
- ・配付先 市町村、市町村民会議、正会員、賛助会員、県庁関係課、県等関係機関・団体、都道府県民会議等

(3) 各種表彰

①青少年団体等顕彰

地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体、青少年、青少年育成団体及び青少年育成指導者を表彰し、その活動を奨励した。

○青少年団体等顕彰選考委員会

- ・開催日 令和7年1月17日(金)
- ・会 場 県立青少年会館(水戸市)
- ・出席者 選考委員8名中6名出席

○顕彰式

- ・開催日 令和7年2月26日(水)(青少年健全育成茨城県推進大会において開催)
- ・会 場 アダストリアみとアリーナ(水戸市)
- ・出席者 906名
- ・顕彰件数 12件
青少年団体・青少年グループ1団体
青少年2名
青少年育成団体・青少年育成グループ1団体
青少年育成指導者8名

②感謝状贈呈

令和6年度青少年育成県民運動に貢献した団体等へ感謝状を贈呈した。

○感謝状贈呈式

- ・開催日 令和7年2月26日(水)(青少年健全育成茨城県推進大会において開催)
- ・会場 アダストリアみとアリーナ(水戸市)

○贈呈件数 9件(敬称略)

- ・多額の活動助成金を寄せられた団体
ライオンズクラブ国際協会333-E地区(水戸市)
- ・少年の主張茨城県大会に貢献された法人・団体
株式会社 鹿島アントラーズ・エフ・シー(鹿嶋市)
青少年育成美浦村民会議(美浦村)
- ・「あいさつ・声かけ運動」に貢献された法人
株式会社 フットボールクラブ水戸ホーリーホック(水戸市)
株式会社 茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント(水戸市)
- ・「青少年健全育成茨城県推進大会」に多額の活動助成金を寄せられた法人
公益財団法人 げんでん ふれあい茨城財団(東海村)
- ・「家庭の日」絵画・ポスター事業に貢献された法人
ぺんてる株式会社 茨城工場(小美玉市)
イオンモール水戸内原(水戸市)
イオンモールつくば(つくば市)

(4) 会議等への出席

青少年育成県民運動の連携を図るため、県関係機関、団体が行う青少年健全育成関係諸会議、大会等へ出席・参加し、協力・連携を深めながら効果的な運動の推進を図った。

また、16の機関、団体の事業に対し後援を行った。

○関係機関・団体との連携先(12機関団体)

- ・茨城県青少年健全育成審議会 ・茨城県子ども・若者支援地域協議会
- ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会
- ・茨城県安全なまちづくり推進会議 ・茨城県暴走族対策会議
- ・“社会を明るくする運動”茨城県推進委員会
- ・チャレンジいばらき県民運動 ・茨城県ユースホステル協会
- ・全国青少年育成県民会議連合会 ・公益社団法人 茨城原子力協議会
- ・公益財団法人 茨城県暴力追放推進センター
- ・茨城県20歳未満喫煙防止対策協議会

(5) 青少年心理アドバイザーの派遣

青少年育成者の資質向上と地域活動の促進を図るため、青少年心理やカウンセリング等に専門的な技術や知識を有する方を「青少年心理アドバイザー」として登録し、地域で開催する研修会等へ講師として派遣した。

- ・青少年心理アドバイザー 13名
- ・派遣 6回

(6) 青少年関係事業の相談等

青少年団体活動、青少年育成活動に関する相談に応じた。

3 青少年育成県民運動の周知強化事業

青少年育成県民運動の充実と一般県民等へ更なる周知を図るため、賛助会員及び事業協賛金等の募集活動を行った。

(1) 新賛助会員の確保

| | |
|------|---|
| ○実 績 | 92,000 円 (新規加入 法人賛助会員 5 口 個人賛助会員 8 口 特別賛助会費 18 口) |
|------|---|

(2) 協賛金・活動助成金等の受入等

| | | |
|--------|-----------------------|-----------|
| ○協賛金 | 水戸西ライオンズクラブ | 50,000 円 |
| ○活動助成金 | ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 | 300,000 円 |
| ○事業助成金 | 公益財団法人 げんでん ふれあい茨城財団 | 500,000 円 |

(役員等に関する事項)

○令和6年4月1日、役員等（正副会長、理事、監事及び青少年心理アドバイザー等）が、協会管理下の活動中に不測の事故にあった際に対応する傷害保険に加入了。

II 地域活動推進事業

1 市町村民会議活動の推進

地域において青少年育成運動を総合的に推進している市町村民会議等の活動と組織充実のために支援を行った。

(1) 市町村民会議活動の支援

市町村民会議の活動が促進されるよう、総会及び大会等への出席、訪問及び電話等により活動の支援を行った。

(2) 市町村民会議の結成促進

市町民会議未結成市町へ訪問し結成促進を図った。

- ・訪問先 阿見町(令和6年12月13日) 守谷市(令和7年1月21日)

(3) 地区市町村民会議連絡会活動の支援

地区市町村民会議連絡会の研修会に出席するなど、活動の支援を行った。

- ・水戸地区青少年育成市町民会議連絡会（令和6年度事務局：小美玉市）
- ・大宮地区青少年育成市村民会議連絡会（東海村）
- ・県北地区青少年育成市町民会議連絡会（日立市）
- ・鹿行地区青少年育成会連絡会（鹿嶋市）
- ・土浦地区青少年育成市民会議連絡会（つくば市）
- ・稻北地区青少年育成市町村民会議連絡会（河内町）
- ・県西東部地区青少年育成市町民会議連絡会（八千代町）
- ・県西西部地区青少年育成市町民会議連絡会（古河市）

2 市町村民会議会長・事務局長・青少年行政担当者等研修会

- 事業名 事業説明会・青少年育成研修会（新たな名称とした）
- 開催日 令和6年4月24日（水）
- 会場 県立青少年会館（水戸市）
- 出席人数 116名（37市町村、11正会員）
- 内容
 - ・令和6年度活動方針、事業計画及び予算について
 - ・令和6年度青少年育成県民運動の推進について（実施事業の具体的な説明）
 - ・役員候補者の推薦について
 - ・「令和5年度少年の主張茨城県大会」主張発表の映像上映
 - ・実践事例発表（令和5年度青少年団体等顕彰受賞者）
 - ①「スカウトの自己肯定感を育み・お互いを認め合い・居場所づくりを心がける」（古河市）
発表者：ガールスカウト茨城県第34団
団委員長 宮本 京子 氏
 - ②「小学校統廃合後の串挽（くしひき）協議会の活動状況」（鉾田市）
発表者：青少年育成鉾田市民会議 串挽地区協議会
会長 山崎 公藏 氏
 - ③「私の青少年教育活動への取り組み」（笠間市）
発表者：太田 耕一 氏（《一社》茨城県子ども会育成連合会 副理事長）
- ・参加者との意見交換「青少年育成と連携の力」
講師：茨城県生涯学習・社会教育研究会
会長 長谷川 幸介 先生

3 青少年育成市町村民会議訪問懇談会

当協会役職員が市町村民会議を訪問し、青少年育成活動の進め方等について関係者と意見交換を行い、県民運動の普及と市町村民会議の活動促進を図った。

○懇談会実施市町村民会議

- ・青少年を育てる石岡市民の会（石岡市）
令和6年12月5日(木) 市八郷庁舎 5名出席
- ・青少年育成桜川市民会議（桜川市）
令和6年12月6日(金) 大和ふれあいセンター「シトラス」 6名出席
- ・日立市青少年育成推進会議（日立市）
令和6年12月10日(火) 市シビックセンター 7名出席
- ・青少年育成つくばみらい市民会議（つくばみらい市）
令和7年1月28日(火) 市コミュニティースペースみらい 6名出席
- ・その他、情報収集のために、事務局で全市町村を訪問した。
(1月30日、2月3日～6日 計5日間)

4 地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト事業の実施

生きづらさを抱える子ども・若者が、支援の網の目からこぼれ落ちてしまわないよう、地域での連携した支援を進める孤立0(ゼロ)の取り組みの全県的な波及と複合的支援活動の発展を図る「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト事業」を実施した。

(1) 合同研修会の実施

不登校・ひきこもり、貧困問題など、子ども・若者が抱える生きづらさについて理解を深めるため、青少年育成団体等の合同研修会を開催した。

- 開催日 令和6年12月20日(金) 13:00～15:30
- 主 催 (公社)茨城県青少年育成協会
- 共 催 茨城県P T A連絡協議会
茨城県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク)
- 会 場 県立青少年会館(水戸市)
- 内 容 •活動発表
 - 友部コモンズ(笠間市) 代表 山神 智子 氏
 - ぼくらの教室(鹿嶋市) 副代表 前田 竜甫 氏
 - ・グループワーク 「居場所」について考える
 - ファシリテーター 茨城県職員 助川 達也 氏
- 参加者 92名

(2) 「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト」モデル事業の実施

困難を抱える子ども・若者の支援活動に取り組む団体を公募・指定し、1団体10万円を限度として助成した。

また、事業内容を機関紙「あけぼの」で紹介した。

| No. | 実施団体（所在地） | 事業名 |
|-----|-------------|----------------------|
| 1 | 友部コモンズ（笠間市） | 子供向け農業、森林再生体験 |
| 2 | NANALA（牛久市） | 地域の第三の居場所NANALAファミリー |
| 3 | ぼくらの教室（鹿嶋市） | ぼくらの教室 |

III 青少年健全育成事業

1 少年の主張茨城県大会

少年の社会への关心や視野を広めるとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などの育成を図るため、県内中学生から主張文を募集し、優秀者10名が発表する県大会を開催した。

○発表大会 令和6年9月25日(水・平日) 美浦村中央公民館大ホールで開催

○共 催 美浦村 美浦村教育委員会 美浦村学校長会 青少年育成美浦村民会議

○参加者 約500名(美浦中学校全生徒、市町村民会議、青少年育成関係者等)

○応募総数 10,873作品

(公社)茨城県青少年育成協会への推薦 247作品

○参加中学校数 134中学校(32市町村)

○最優秀者(茨城県知事賞) 茨城県立盲学校 中学部 3年

深川 彩春(ふかがわ いろは)さん

・全国大会出場候補者として、最優秀者(茨城県知事賞受賞者)を関東甲信越静ブロック審査(書類審査)へ推薦し、11月24日(日)開催の全国大会において、国立青少年教育振興機構努力賞を受賞した。

・発表記録集800部及び主張発表(10名)を収録したCD450枚を作成し、全中学校、市町村教育委員会、市町村民会議及び正会員団体等へ配付した。

・主張発表(10名)映像を収録したDVDを作成し、美浦中学校及び発表者へ贈呈するとともに、市町村で開催される研修会にCDと併せて活用を図った。

IV 明るく楽しい家庭づくり・「地域親」推進事業

1 大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—の推進

地域の大人や親一人ひとりが、自分自身を省みて子どもたちの手本になるよう心がける「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の普及啓発を図った。併せて「ながらスマホ0(ゼロ)」県民運動の普及啓発を推進した。

『大人のマナーアップ宣言』

- ・スマホを閉じて子どもに目を向ける
- ・子どもの笑顔をつくれる大人になる 等

(1) 「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」街頭キャンペーンの実施

県民に広くアピールするために、関係機関・団体と連携し、「あいさつ・声かけ運動」及び「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」街頭キャンペーンを実施した。

| 日 程 | 実施場所 | 実施主体 | 参加者数 |
|------------|--------------------|--|------|
| 11月 1日(金) | 十王駅 | 日立市青少年育成推進会議 | 275名 |
| 11月 6日(水) | 日立駅 常陸多賀駅 | | |
| 11月 7日(木) | 小木津駅 大甕駅 | | |
| 11月 1日(金) | 土浦駅 神立駅 荒川沖駅 | 土浦市まちづくり市民会議 青少年育成部 土浦市青少年相談員連絡協議会 | 302名 |
| 11月 5日(火) | 新鉾田駅 | 青少年育成鉾田市民会議 | 33名 |
| 11月 8日(金) | 下館駅 | 青少年育成筑西市民の会 | 88名 |
| 11月 3日(日) | ケーズデンキ スタジアム水戸 | (公社)茨城県青少年育成協会 | 10名 |
| 11月 30日(土) | アダストリア みとアリーナ | (公社)茨城県青少年育成協会 | 12名 |

(2) 啓発資料の作製

市町村民会議等へのぼり旗及びポケットティッシュ（「あいさつ・声かけ運動」と併記）の共同作製を斡旋した。

○大人のマナーアップ のぼり旗

- ・市町村民会議等共同作製 3市町 70枚

○大人のマナーアップ、あいさつ・声かけ運動 ポケットティッシュ

- ・市町村民会議等共同作製 13市町 27,000個

- ・(公社)茨城県育成協会作製 11,000個

2 「あいさつ・声かけ運動」の推進

地域の大人と子ども、大人同士、子ども同士のコミュニケーションを広げる「きっかけ」とするため、家庭、学校、地域の中で日々「あいさつ・声かけ」が交わされるよう、県民や関係機関・団体への普及啓発に取り組むとともに、青少年育成市町村民会議等が推進主体になって地域で運動を展開するよう支援した。

(1) 「あいさつ・声かけ運動」強調月間街頭キャンペーンの実施

【再掲】

県民に広くアピールするために、関係機関・団体と連携し、「あいさつ・声かけ運動」及び「大人のマナーアップ運動一大人が変われば、子どもも変わる一」街頭キャンペーンを実施した。

(実施日程、場所等は、「大人のマナーアップ運動一大人が変われば、子どもも変わる一」を参照)

(2) 啓発資料の作製

市町村民会議等へのぼり旗及びポケットティッシュ（「大人のマナーアップ運動」と併記）の共同作製を斡旋した。

○あいさつ・声かけ運動等 のぼり旗

- ・市町村民会議等共同作製 8市町 642枚

【再掲】

○大人のマナーアップ、あいさつ・声かけ運動 ポケットティッシュ

- ・市町村民会議等共同作製 13市町 27,000個

- ・(公社)茨城県育成協会作製 11,000個

3 明るく楽しい家庭づくり運動の推進

(1) 「家庭の日」の推進

家族の絆を深め、家庭を大切にし、明るく豊かな家庭を築く「家庭の日」（第3日曜日）を推進した。

① 「家庭の日」絵画・ポスターの募集

市町村及び市町村民会議に小学生の部、中学生の部、各3作品以内として募集を行った。

市町村及び市町村民会議から推薦のあった作品については、専門家等による審査委員会の審査を行い、最優秀作品6点を決定した。

最優秀賞受賞者には、「ぺんてる賞」として、ぺんてる株式会社 茨城工場様から記念品が贈られ、令和7年2月26日(水)に開催した青少年健全育成茨城県推進大会における表彰式において表彰した。

また、推薦作品は、機関紙「あけぼの」及びホームページで紹介するとともに、イオンモール水戸内原、イオンモールつくばを会場に、それぞれ1週間の展示を行い、「家庭の日」の普及を図った。

○応募状況

- ・市町村応募数（30市町村）

小学生の部 3,011作品 中学生の部 375作品 合計 3,386作品

- ・県青少年育成協会への推薦

小学生の部 77作品 中学生の部 54作品 合計 131作品

○「家庭の日」絵画・ポスター審査

- ・令和7年1月17日(金) 県立青少年会館(水戸市)

- ・審査委員会

茨城県学校長会(茨城県教育研究会)

茨城県福祉部子ども政策局 青少年家庭課

茨城県PTA連絡協議会

日本ボーイスカウト茨城県連盟

(公社)茨城県青少年育成協会

○「家庭の日」絵画・ポスター展示

- ・令和7年1月21日(火)～1月27日(月)

イオンモール水戸内原 2階イオンスタイル前通路

- ・令和7年1月31日(金)～2月6日(木)

イオンモールつくば 1階ウエストコート通路

※作品の展示・撤去については、「青少年を育てるつくば市民の会」の多大な協力により効率的に作業を進めることができた。

○最優秀賞受賞者

- ・賞状の授与及び記念品(協賛:ぺんてる株式会社 茨城工場)の贈呈

- ・令和7年2月26日(水) 青少年健全育成茨城県推進大会で表彰

| No. | 氏名 | 学校・学年 | タイトル |
|-----|--------|------------------------|-----------|
| 1 | 川井 樹 | 石岡市立柿岡小学校 6年 | 家族でもちつき |
| 2 | 佐藤 光 | 取手市立高井小学校 3年 | こん虫はぼくの家族 |
| 3 | 井口 麟太朗 | わかすぎ学園 那珂市立菅谷小学校 1年 | はなびをみたよ |

| | | | |
|---|--------|-------------------|--------|
| 4 | 千葉 心美 | 石岡市立府中中学校 2年 | 添い寝 |
| 5 | 大山 鈴歌 | 筑西市立下館西中学校 2年 | 家族とスキー |
| 6 | 宇都木 咲來 | かすみがうら市立霞ヶ浦中学校 7年 | またね |

4 青少年健全育成茨城県推進大会

子育て中の親や青少年育成関係者が一堂に会する大会を開催し、青少年団体等顕彰式等の「表彰式」や、少年の主張茨城県大会の「事業報告」の他、犯罪心理学者の出口保行氏の「攻める防犯」をテーマとした講演会を通して、子ども・若者育成支援活動への積極的な参加を呼びかけ、青少年育成県民運動のより一層の理解と啓発を図った。

(1) 開催日 令和7年2月26日(水) 13:00～15:30

(2) 主 催 (公社)茨城県青少年育成協会
青少年育成市町村民会議

(3) 協 賛 公益財団法人 げんでん ふれあい茨城財団
ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

(4) 会 場 アダストリアみとアリーナ(水戸市)

(5) 参加者 906名

(6) 内 容 ○開会式

- ・開会のことば
- ・主催者あいさつ
- ・来賓祝辞
- ・来賓紹介

○表彰式

- ・「家庭の日」絵画・ポスター表彰式
- ・感謝状贈呈式
- ・青少年団体等顕彰式

○事業報告

令和6年度少年の主張茨城県大会 茨城県知事賞受賞

令和6年度少年の主張全国大会

国立青少年教育振興機構努力賞受賞

茨城県立盲学校 中学部 3年 深川 彩春 さん

○講演会

「一万人の犯罪者分析から学ぶ攻める防犯という考え方
—よかれと思っての落とし穴—」

講師 東京未来大学 副学長・教授 出口 保行 氏

V 非行防止・社会環境浄化推進事業

1 薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の推進

茨城県及び茨城県薬物乱用防止指導員協議会が主体となって実施する「ダメ。ゼッタイ。」普及運動に市町村民会議と共に参加協力をした。

(1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動^{ろく にろく}ヤング街頭キャンペーンへの参加活動

- ・実施日 令和6年6月22日(土)
- ・場所 水戸駅

(2) 「ダメ。ゼッタイ。」看板設置による広報啓発活動

薬物乱用防止を啓発する看板を県立青少年会館に設置して広報啓発活動を行った。

2 20歳未満の喫煙防止活動の推進

茨城県 20歳未満喫煙防止対策協議会が主体となって実施する 20歳未満喫煙防止街頭キャンペーンに、国・県関係機関、市町村民会議、県青少年相談員連絡協議会（いばらき子ども見守りネットワーク）、県更生保護女性連盟、県たばこ販売協同組合、日本たばこ産業(株)茨城支社等とともに参加協力し、20歳未満の喫煙防止啓発活動の推進を図った。

- ・実施日 令和6年7月11日(木)
- ・場所 水戸駅 日立駅 土浦駅 取手駅 下館駅
- ・参加者総数 175名
- ・県 20歳未満喫煙防止対策協議会（8月8日開催、2名出席）

3 「いばらき青少年・若者プラン」に呼応した活動の推進

茨城県等が主体となって実施する「茨城県フィルタリング普及啓発推進月間」・「春のあんしんネット・新学期一斉行動」について、青少年を取り巻く関係者の理解を深める活動を集中的に行い、有害情報から青少年を守るフィルタリング普及啓発活動を推進した。

4 安全なまちづくり県民運動の推進

茨城県安全なまちづくり推進会議が主体となって実施する広報啓発活動などに協力し、青少年が安心して暮らせるまちづくりを推進した。

VI 青少年会館運営事業

1 茨城県立青少年会館（研修室）の運営<公益目的事業>

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年及び若者の研修、学習、

その他の活動を促進することを目的とする施設貸与を行った。

- (1) 利用状況の分析とチラシ配布による広報活動
- (2) ホームページ等を活用したイルームの利用促進
- (3) 利用者アンケート調査の実施

青少年が利用するフリースペース「イルーム」に関しては、自主学習など個人で利用できるよう仕切りのある机を設置し、周辺の高校にチラシを配布して利用促進を図ったところ、前年に比べて利用が大きく増加した。

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 前年度比 |
|----------|-------|---------|---------|
| 青少年等利用件数 | 384 件 | 347 件 | 90.4 % |
| イルーム利用人数 | 787 人 | 3,107 人 | 394.8 % |

2 茨城県立青少年会館（研修室）の運営＜収益事業＞

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年等以外に対する施設貸与を行った。10月に利用料金が変更となり、あわせて研修室の定員の見直しも行われた。ホームページで夜間利用をPRするなど、利用促進に向けて広報を行ったが、前年度と比べて利用件数は減少した。

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 前年度比 |
|----------------|---------|---------|--------|
| 一般(青少年等以外)利用件数 | 1,485 件 | 1,388 件 | 93.5 % |

3 青少年育成事業

(1) ユーストレーニングキャンプの開催

笠間市リーダースクラブと共に、高校生会交流会を開催した。

○開催日 令和6年12月1日(日) 13:00~15:30

○会場 県立青少年会館（水戸市）

○参加者 県内の高校生会 15名

- ・鉾田市「リーダーズクラブ」
- ・茨城町「ひぬま高校生会」
- ・東海村「東海村高校生会」
- ・常陸大宮市「常陸大宮高校生会」
- ・笠間市「笠間市リーダースクラブ」

○内容 研修1 アイスブレイク

講師：For Everyone Study 代表 植竹 智央 氏

研修2 講演会「高校生のためのSNS投稿マスター講座」

講師：茨城カフェ たく 氏